

ODA

しゃりん 101号

沖縄脊髄損傷者連合会

発行：沖縄県身体障害者福祉協会
 編集：沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室
 E-Mail sekiren@proof.ocn.ne.jp
 HomePage http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/

えっ？ 65歳からは介護保険制度を利用しないといけないの？ 介護保険と福祉サービス 福祉制度Q&A

Q. 障がい者のホームヘルプサービスを受けていますが、「65歳になったら介護保険サービスが優先されるので、現在のサービス（ホームヘルプ週1回と障がい者デイ週5回）は利用できない」と言われ、戸惑っています。私は現在のサービスを利用し続けたいと思っていますが、65歳以上になっても継続できる方法はありませんか？（64歳会員）



A. 原則、介護保険サービスが優先です。

ただし障がい者固有のサービスなどは継続可能です。

介護保険制度と障がい者施策との適用関係については、2000年3月24日に発出された通知（障企第16号・障障第8号）に基づき判断されています。通知では、原則として介護保険施策からのサービスが優先されるものの、介護保険の保険給付にはないサービスや、介護保険だけでは対応できないサービスについては、引き続き障がい者施策からのサービスが提供されることとしています。障がい者デイサービスにおいても、「創作的活動」や「社会適応訓練」などの障がい者固有のサービスを受ける65歳未満の障がい者

ちはる歯科クリニック

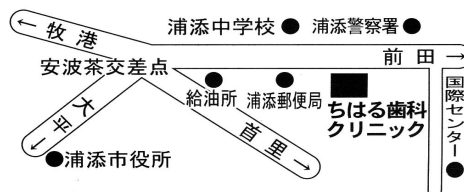
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
 病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

が、65歳以降も引き続き同事業の利用を希望する際には、利用を認めても差し支えないと明記しています。

そのため、ご質問の利用者においても、週5回利用されている障がい者デイサービスでどのような支援をうけているのか、その内容が問われることとなります。仮に当該デイサービスから障がい者固有の支援を提供されており、利用者がその継続を望んでいるのであれば、65歳以降もサービス利用継続の可能性はあります。

また、車いすについても介護保険優先とされますが、障がい者制度の補装具とする場合は、特にオーダーしなければならない理由を示せば可能です。例えば“車を運転するのでコンパクトな車いすが必要”とか“頸髄損傷で体幹バランスを保持するために”等です。これらのことも含め、「利用できないもの」とあきらめる前に、当該市町村としっかりと相談されることをお勧めします。

なお現在、障がい者自立支援法は2013年8月までに廃止し、その後に障がい者総合福祉法を制定する準備が進められています。新しい障がい者総合福祉法の内容を審議している「障がい者制度改革推進会議総合福祉部会」が2011年8月30日にとりまとめた「障がい者総合福祉法の骨格に関する総合福祉分会の提言」では、「介護保険対象年齢になった後でも、従来から受けていた支援を原則として継続して受けることができる」ことを明記しています。仮に当該市町村が障がい者施策の継続利用を認めない場合でも、国の障がい者福祉制度改革の方向性を示しつつ、当事者のねがいや希望に寄り添った支給決定を行っていくことの

県障がい者スポ協発足

障がい者スポーツの普及・振興を目的に、特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会がこのほど発足し、設立記念式典が7月25日(水)に沖縄県庁舎(県民ホール)で県、市町村長及び各関係団体の総勢140名ほどの列席の下行われました。

高嶺豊理事長は「スポーツやレクは重要な手段として、スポーツを楽しめる社会づくりをしたい」とあいさつ。与世田兼稔副知事は「県としても健常者と共に生活できる社会のために、支援していきたい」とエールを送った。

ロンドンパラリンピック出場を決めた、上与那原寛和選手・仲里進選手の激励会も行われ「メダルを目指して頑張りたい」とそれぞれ抱負を述べた。また、式典では車いすダンスと車椅子シンガーによるレセプションも行われ、会場に花を添えました。

昨今思うこと

横田 清

オリンピック、パラリンピック共に終わり何だか全身から力が抜けた感じだ。さて次なる楽しみはなんだろうか。

僕は高校野球を観るのが好きで公式戦は1回戦から球場通いである。優勝戦や準決勝戦より1、2回戦の方が見どころがあって面白い。高校野球は負けたら終わりで次がない毎試合が決勝戦である。だから懸命に白球を追う姿には純粋なスポーツ精神が感じられる。時には感動を覚え涙する場面もある。プレー一つ一つにそろばん勘定が見え隠れするプロの試合とは別物だ。ベンチ入りメンバーから外れてもスタンドでメガホンを持ち必死に仲間を応援する部員達にも声援を贈りたい。球場に行けばやはり昔の若い人が多い。球場周辺では関係者で

ない僕にも丁寧に挨拶してくれる彼らに感謝だ。時折車いすの仲間とも遭遇する。中には(車いすの)常連もいる。公式戦は主に北谷球場とセルラー球場で実施されていて、両球場ともバリアフリーであるので皆さんにも観戦を勧めたい。ただし、北谷球場は直射日光にさらされての観戦なので頸損には不向きかな。

ちなみに高校野球は障害者手帳を提示すれば入場料は無料である。ところで、僕が脊損になって気が付けば30年が過ぎた。その間障害者スポーツの競技種目も増えたようだ。車いす競技以外も迫力があって面白い。ロンドンパラリンピックを見ながら感じたことだが、義足や車いす等補装具の進化に加え世界の障害者たちの競技力の向

上には圧倒された。アーチェリー競技は何年も前からバリアフリー化が定着し過去にはオリンピックにも車いす選手が参加していた。義足のランナーがロンドンオリンピックに参加したのは新時代の幕開けか。ところで突然だが、時代の流れを感じるのはスポーツだけではない。障害者福祉の環境もめまぐるしく変化している。うっかりすると浦島太郎になってしまう。社会の流れ政治の流れにも注目しなければ。我々の知らぬ間に我々の運命が決められてしまうかも? 最後に、NHKのパラリンピック放送でコメンテーターの発言「近い将来パラリンピックもオリンピックも一つになるだろう」

お店紹介：お気に入りのセカンドバッグ見つかるかも

会員の中で所有率が高いセカンドバッグ。最近は売っている場所も減ってきてお気に入りを探すのにも一苦労ですよ。

北谷にあるバッグ専門店『バッグハウス・リッチモンドワールド』では、店内はトートバッグ、旅行かばん、スポーツバッグ、スーツケースなどがびっしりと並んでいました。そんな中でセカンドバッグも40種類ぐらい売っているのを発見。写真はその一部。値段は3,000円から2万円超もする高級品までさまざま。きっと皆さんのお気に入りのバッグが見つかると思います。

セカンドバッグは2階にあって残念なが

らエレベータは無いのですが、店員さんに聞いたところ、バリアフリーではなくて申し訳ないですが、お声かけしていただければ1階に品物を全部持って来てもらえるとのことでした。ちょうどトランクを買う機会があったのですが、要望に合った商品がすぐ用意してもらったりでとっても親切な対応でした。オススメです。

場所は北谷のハンビータウンの向かいにあるレンタルショップゲオの隣り。(砂川)バッグハウス・リッチモンドワールド
北谷町北谷2-13-4 (TEL.936-9350)



第1回 浜コン「浜辺の合コン&サンセットライブ」海風に吹かれて・君の横顔・夕陽にそまる・トグチ浜音楽と出愛のバーベキューのご案内

10月20日(土)に読谷村のトグチ浜で「浜辺の合コン&サンセットライブ」が行われます。このイベントは、ハンディキャップのため家に閉じこもりがちな方、出かけたくても外出には支援が必要な方でも、外に出て、人とふれあい、仲間と出あい、みんなで楽しいひと時を過ごせる場をもちたい!という想いから、読谷村在住の頸髄損傷の会員「宮城幸春」とケントファミリーの皆さんが企画したものです。会場となるトグチ浜は小さなビーチですが、車いすで安心して訪れることができるバリアフリー環境の整ったすばらしいビーチです。沖脊連では今回、恒例のビーチパーティーの代わりに「トグチ浜音楽と出愛のバーベキュー」に会員の皆様と共に参加したいと思いますので参加を希望される方は事務局までご連絡ください。なお、この企画は、浜辺の合コンとBBQ、ケントファミリーによるLIVEとBBQの2種の参加形態があります。

- 1) 合コン(独身のみ) 定員50名 参加費 2,000円(飲み物別途/当日販売)
- 2) LIVE&BBQ(独身・既婚者どなたでも参加OK) 定員150名 参加費 2,000円

※BBQの食材等の準備のため、どちらを希望するにしても申込が必要です。また、独身の方で合コンへの参加希望者は申込み人数が上限の50人に達し次第×切となりますので、お早目にお申込みください。合コン参加者は、当日早めに会場入りして簡単な打ち合わせがあるようです。それから、沖脊連会員の参加費の取りまとめは当日沖脊連事務局が行い、まとめて主催者に支払うこととしますので、イベント間近でキャンセルした場合も参加費は徴収させていただきます。

主催: サポートセンター「ケントミ」
後援: FMよみたん/サンセットとぐち/スーパーサイン
日時: 2012年10月20日(土)午後2時から6時頃まで
場所: 読谷村渡具知ビーチ(泊城公園) 国道58号線、読谷村大湾交差点より西側へ入る。古堅給油所前の十字路からイオンタウン読谷向けに500mほど進む。住所: 読谷村渡具知228
駐車場: 有(無料)

※バリアフリートイレ完備、ビーチ内舗装路あり
申し込み/連絡先: 沖縄脊髄損傷者連合会
【10月10日(水) 16時締め切り】
 TEL: 886-4211 (枝川・FAX兼用)



R.C.Y. Rehabilitation Clinic Yamaguchi リハビリテーションクリニック **やまぐち**
 〒900-0003 那覇市安謝 1-10-28 TEL 098-864-1100
 安らぎ・癒し・元気を提供します。

診療スタッフ
 医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
 副院長 山口 浩 整形外科専門医
 リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科 ▶ 身体機能訓練
 ▶ 身体能力訓練
 ▶ 言語訓練
 ▶ 摂食嚥下訓練
 ▶ 認知訓練

診療時間

月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○
午後 2:00~ 6:00	○	○	○	○	○

地図: 読谷村大湾交差点を南進し、右折して西側へ入る。古堅給油所前の十字路からイオンタウン読谷向けに500mほど進む。住所: 読谷村渡具知228 駐車場: 有(無料)

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人 沖繩県那覇市首里石嶺町四一三七三一 沖繩県総合福祉センター西棟二F
 沖繩県身体障害者福祉協会 ボランティア小規模団体室・沖繩脊髄損傷者連合会 しゃりん編集部 砂川昭人

購読料は会費に含む
 【頒価二十円】